

# 令和6年度の部会活動について

令和6年3月25日  
震災伝承みやぎコンソーシアム事務局

# 1 前回までの振り返り

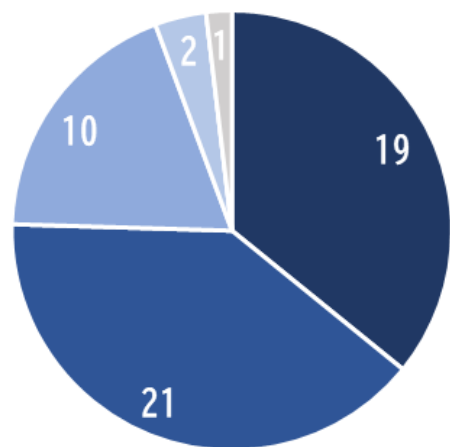
○令和5年12月26日付け（第2回後）でコンソーシアム会員宛てアンケートを実施 ※令和6年度に部会活動を実施することについての意見照会

## ○結果

- 多くの皆様から部会活動の賛同（75.5%、伝承団体：77.3%）。
- 一方、自団体の活動との兼ね合いや、具体的なイメージが見えないことがやや不安等の意見もあり。

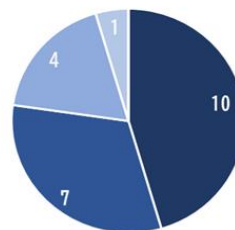
問1 部会活動についての賛否

問1 賛否（全体集計）

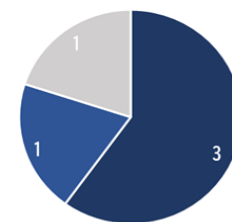


- ①賛成
- ②どちらかといえば賛成
- ③どちらともいえない
- ④どちらかといえば反対
- ⑤反対 ←該当なし
- ⑥無回答

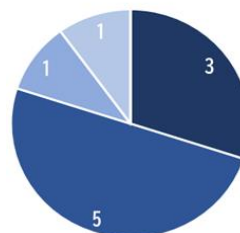
問1 賛否（伝承団体等）



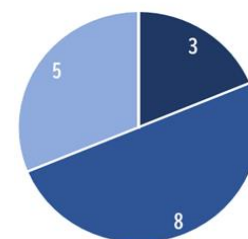
問1 賛否（報道機関）



問1 賛否（企業等）

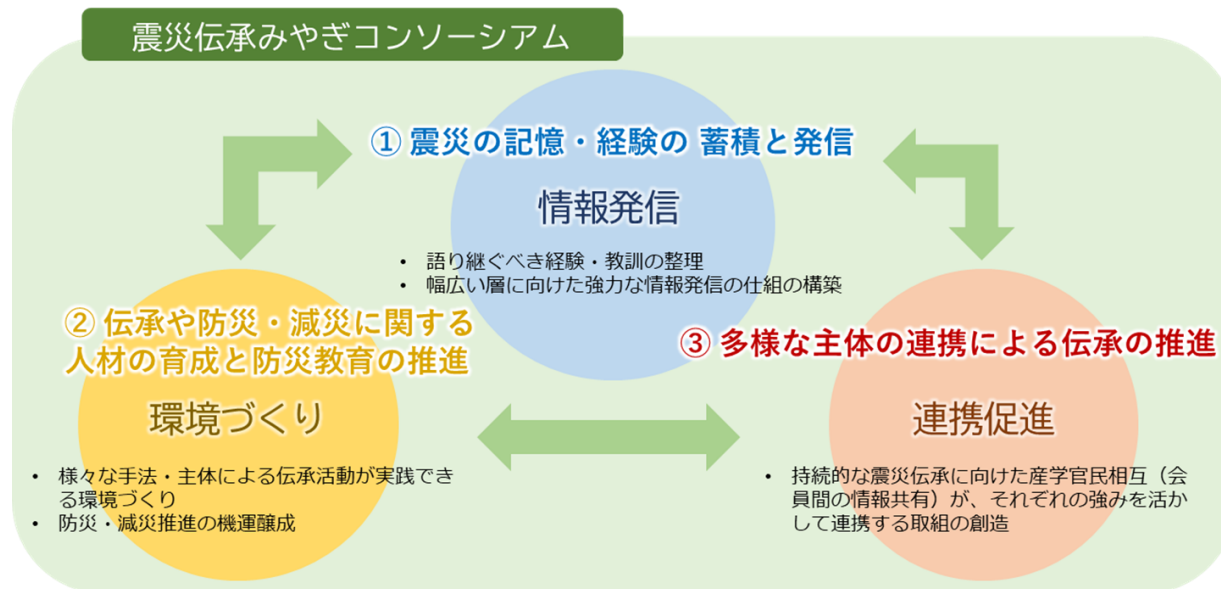


問1 賛否（行政機関）



# 1 前回までの振り返り

- 令和5年度第3回全体会（令和6年1月22日実施）での意見交換の内容
- 皆様からいただいた主な意見
    - ・ 部会間での連携が必要。
    - ・ 行政主体ではなく、民間主体の自由な発想で活動すべき。
    - ・ 1団体1部会に限定せず、関心のある部会には参加できた方が良い。
    - ・ どの部会に所属したいか希望を取る際に、その部会で自団体がどのような役割を担えるか、何をしたいかについても確認し、部会で共有すると良い。



## ○方針（東北大学 佐藤翔輔先生コーディネート）

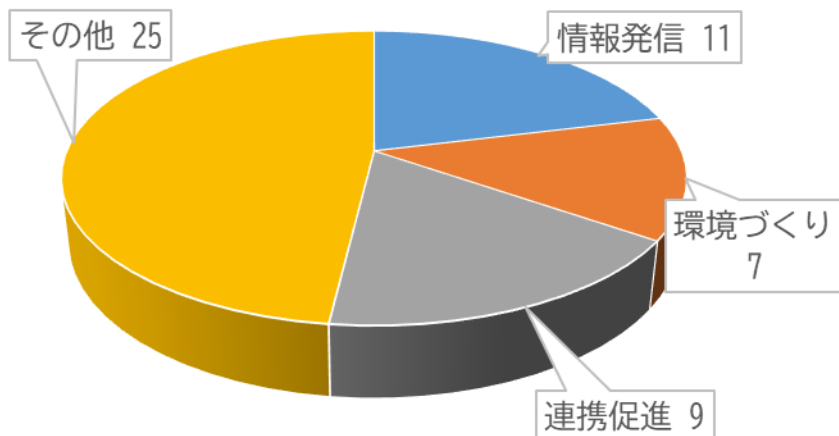
- まずはこの3部会でやってみる
- 開催頻度は年4回を目途に状況次第で柔軟に

## 2 アンケート結果（令和6年3月1日付け）

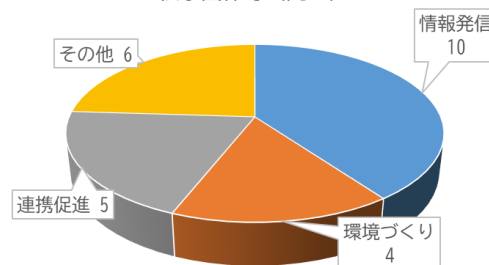
### 問1 所属したい第一希望の部会

- 会員の皆様のうち約半数から部会参加のご意向
- オブザーバーとしての参加も同程度の希望

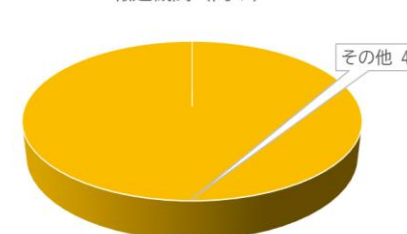
問1 所属したい第一希望の部会



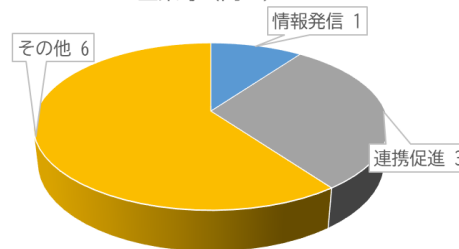
伝承団体等（問1）



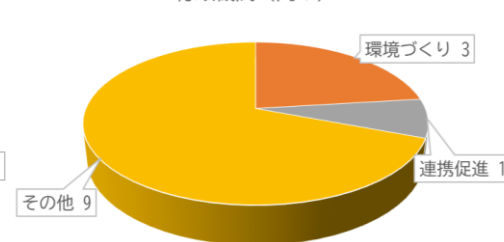
報道機関（問1）



企業等（問1）



行政機関（問1）

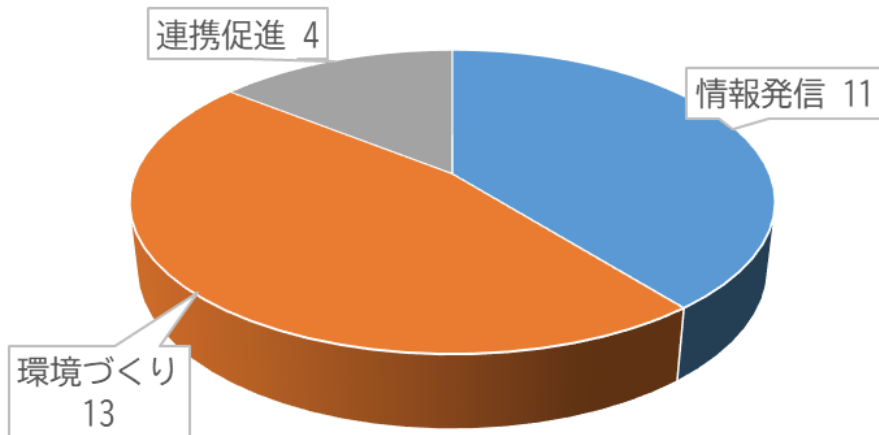


## 2 アンケート結果（令和6年3月1日付け）

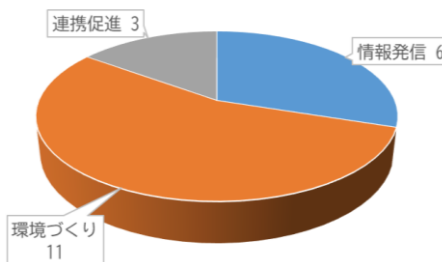
### 問3 答え1以外で参加を希望する部会

- 第1希望以外の部会への参加ご意向も多数
- 「環境づくり」と「情報発信」で多い傾向

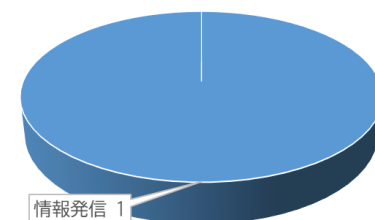
問3 答え1以外で参加を希望する部会



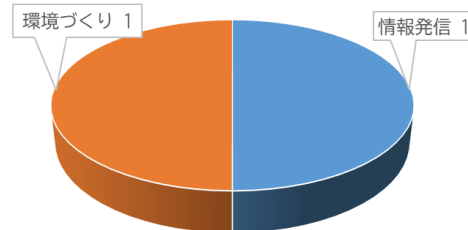
伝承団体等（問3）



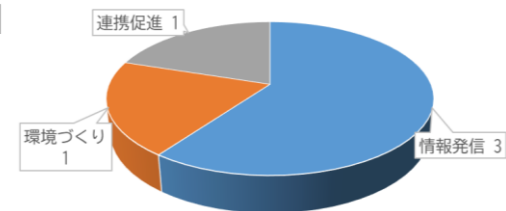
報道機関（問3）



企業等（問3）



行政機関（問3）



### 3 部会員の構成案（別案）

➤ アンケートでいただいたご意向で整理（別表）。

- 第1希望＋第2・3希望：部会員
- それ以外の会員は各部会の「オブザーバー」として、随時関心のある部会に参加

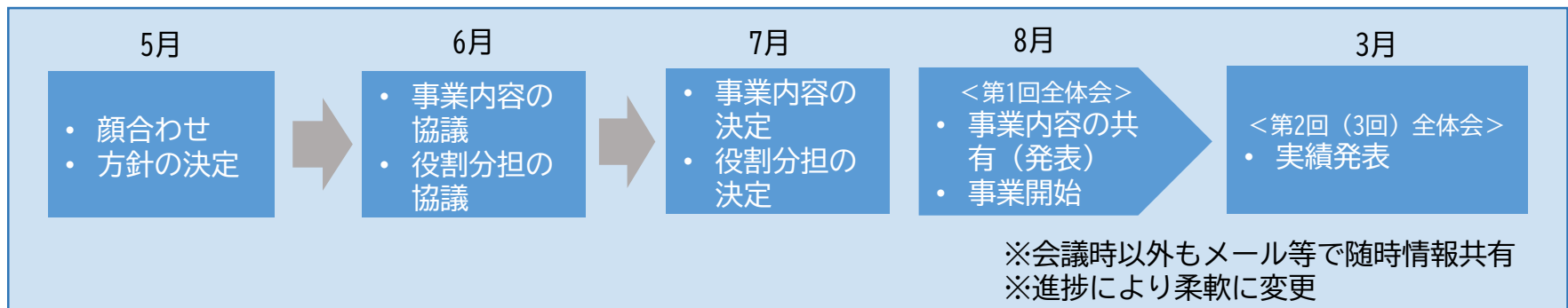
<備考>

- 部会に参加希望の団体が部会の構成員（部会員）
- 新年度の活動開始時点では、アンケート問1、問3で選択した部会に所属

## 4 進め方

- 新年度は、今年度コンソーシアムで議論した5つの目標（プロジェクト）の達成に向け、共同事業としての部会活動を実施。
- 具体的内容は以下のとおり。

### 1. スケジュール



- 年4回（5月、6月、7月、8月（全体会との合同開催））程度の部会開催を予定。
- 日程調整に当たっては、部会員の予定を優先。
- 積極的なWEB会議の活用。
- 部会の進捗については、随時コンソーシアム会員と共有。



## 4 進め方

### 2. 事務局体制

- 事務局（宮城県復興支援・伝承課）が事業調整をサポート（ファシリテート、資料作成等を含む）。
- 事務局は必要に応じて他部会メンバーやオブザーバーに対して情報提供や協力依頼の調整を行う。

### 3. 事業費支援

- 1部会につき150万円を上限として補助。  
※事業に要する旅費、諸謝金、消耗品費等が対象  
※人件費、賃料、光熱水費等は対象外
- 補助に当たり、共同事業計画と構成団体の個別計画の策定を行い交付決定（事務局が策定支援）。
- 計画は単年度。

### 4. メンバーの募集

- 部会メンバーについて募集を継続。
- 4月半ばを目途にR6年度分を確定。

# (参考) 3つの柱と5つの目標 (プロジェクト)

○ 伝承に関する3つの柱を元に、コンソーシアムの5つの目標を設定

## 3つの柱 (県・基本方針、2021.4策定)

1. 震災の記憶・経験の蓄積と発信
2. 伝承や防災・減災に関する人材の育成と防災教育の推進
3. 多様な主体の連携による伝承の推進

## 5つの目標

- ① 語り継ぐべき経験・教訓の整理
- ② 幅広い層に向けた強力な情報発信の仕組の構築
- ③ 様々な手法・主体による伝承活動が実践できる環境づくり
- ④ 防災・減災推進の機運醸成
- ⑤ 持続的な震災伝承に向けた産学官民相互 (会員間の情報共有) が、それぞれの強みを活かして連携する取組の創造